



岩船魂

村上市立岩船小学校
学校だより No.12
令和7年3月25日
<http://www.iwafune.ne.jp/~iwax2-10>
E-mail:school@iwafune-e.murakami.ed.jp

めざす岩船っ子の姿（教育目標） 「深く考え 優しく思いやり たくましくやりぬく子」

『卒業おめでとう～未来に幸あれ～』

校長 佐藤 進

3月24日、22人の卒業生が岩船小学校を羽ばたいていきました。前を向き、凜として歩く姿堂々と証書をもらう姿に、6年間の成長を感じました。変化の激しい社会でも、きっと自分の進むべき道を切り拓いていける、そう思わせるとても立派な卒業生でした。（以下、式辞より抜粋）

* * * * *

岩船には、岩船に住む者が学校や地域で身に付けていく魂があります。『岩船魂』です。皆さんはこの一年、学校のリーダーとして、まさに『岩船魂』を発揮して、岩船小学校を支えてくれました。

私がこの一年皆さんに感じた『岩船魂』の一つが、「思いやりのある行動であり、優しさ」です。岩小カーニバルでは、準備の時から、下学年の活躍の場をつくり、班の人みんなが楽しめるように考えて行動しました。長縄大会、清掃活動など、様々な縦割り班活動がありましたが、いつも下学年のことを気かけ、優しい行動ができる六年生でした。

二つ目の『岩船魂』は、授業や活動に対する真剣さです。授業を見に行くと、一つの問題をみんなで議論していることがよくありました。常に、自分の考えをもち、進んで発表し合っていました。決して自分の考えを押し通すのではなく、話し合って、最適解を見つけ出す、まさに、今、求められている「主体的・対話的で深い学び」を実践していました。

そんな卒業生一人一人の、思いやりがあり、授業や物事に真剣に取り組む努力する『岩船魂』は、在校生が引き継いでいってくれることでしょう。六年生本当にありがとう。

卒業にあたり、これから新しい道に進む皆さんに、私から、相田みつをさんの一篇の詩を送ります。

道

道は じぶんでつくる
道は 自分でひらく
人のつくったものは
自分の道にはならない

皆さんの人生は、始まったばかりです。その中で人生の選択をする時が、必ずやってきます。そんな時、誰かのアドバイスを聞くことは大切ですが、大事なものは、最後には自分で決めるということです。人に決めてもらってはいけません。自分で選んだ道ならば、失敗して後悔しても、また自分の力で立ち直れます。自分で決めた人生なら、どんなに難しいことが起こっても、何とかあります。立ち止まって、時には休んで何ができるか考え、できることから前を向いて 一步一步ゆっくりと歩き続けてほしいと思います。そうすれば、必ず道は開けます。

最後になりますが、卒業生の皆さんが、岩船小学校の卒業生であることに誇りをもち、それぞれの場所で自分らしく、笑顔で輝き続け、目指す「夢」を実現することを願っています。

